

# 平成 25 年度予算要求に係る 「国家的に重要な研究開発の事前評価」について

平成 24 年 9 月 19 日  
評価専門調査会

## 1. 事前評価の実施について

総合科学技術会議では、「総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価について」(平成 17 年 10 月 18 日 総合科学技術会議決定)に基づき、新たに実施が予定されている国費総額が約 300 億円以上の研究開発については、事前評価を行うこととされている。

今般、各府省から平成 25 年度予算概算要求が提出されたことに伴い、対象となる研究開発の事前評価を実施することとする。評価は、評価専門調査会が調査・検討を行い、その結果に基づき総合科学技術会議で決定することとする。

## 2. 事前評価の進め方

評価に必要な調査・検討を行うために、有識者議員及び評価専門調査会専門委員並びに外部の専門家・有識者で構成される評価検討会を設置して、事前評価を行うものとする。

## 3. 実施スケジュール(予定)

|                   |  |
|-------------------|--|
| 平成 24 年 9 月 19 日  | 評価専門調査会<br>○評価対象案件及び評価検討会設置の確認                         |
| 平成 24 年 10 月～11 月 | 評価検討会(2回程度)<br>○担当府省からの聴取等に基づく調査検討                     |
| 平成 24 年 11 月      | 評価専門調査会<br>○評価結果案の取りまとめ                                |
| 平成 24 年 12 月上旬目途  | 総合科学技術会議<br>○評価結果の審議・決定<br>(評価結果を総合科学技術会議議長から関係大臣に通知等) |

## 4. 評価対象

評価対象の研究開発については、別紙のとおり。



## 事前評価対象研究開発(案)

### (1) 「個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発」【経済産業省】

#### <研究開発概要>

世界的に成長著しいバイオ医薬品分野は、我が国では海外生産を中心とした輸入超過産業となっている。我が国は次世代医薬品の宝庫として期待される世界最大の天然化合物ライブラリや、高度な製造技術を有しているが、制度、技術の両面で個別化医療への対応が遅れているため、海外に比べて新薬開発に多大なコスト、時間を要している。我が国での次世代医薬品創出のためには、個別化医療に対応した制度を整備するとともに、本事業によって、ボトルネックとなっている技術的課題を解決する。

<実施期間> 平成25年度～平成29年度

<予算額> ○概算要求額:81.0億円(平成25年度)  
○国費総額: 405億円

### (2) 「革新的新構造材料等技術開発プロジェクト」【経済産業省】

#### <研究開発概要>

本プロジェクトでは、軽量化が求められている輸送機器への適用を軸に、強度、延性、靱性、制震性、耐食性、耐衝撃性等の複数の機能を同時に向上するチタン合金、炭素繊維複合材料、革新鋼板等の高性能材料の開発、異種材料の接合技術の開発等を行う。これにより、各種材料の特性を最大限活かし、軽量化による大幅燃費向上を実現する。

<実施期間> 平成25年度～平成34年度

<予算額> ○概算要求額:60.5億円(平成25年度)  
○国費総額: 605億円

